

カメムシ科

分類 半翅目 カメムシ科

学名 Pentatomidae

英名



写真出展元：公益社団法人 日本ペストコントロール協会

■解説

本科の多くは植食性で、この中にはイネ、野菜あるいは果樹などの農作物を加害、吸収するので農業害虫として知られるものが多い。また、成虫は灯火に飛来したり、越冬時に民家に侵入する種もあり、不快害虫とされることもある。本科は幼虫、成虫を問わず体から臭気を放出し、これがフェロモンとして重要な働きをする。

■体長（クサギカメムシ）¹⁾

卵：1.6mm×1.3mm

幼虫：約12mm（5齢）

成虫：14～18mm

■産卵数（クサギカメムシ）¹⁾

卵数/卵塊：20～30個

■ライフサイクル（クサギカメムシ 25℃）¹⁾

卵：6.5±0.5日

幼虫：43.0±0.6日（1～5齢）

■発育零点（発育停止温度）

【参考文献】

- 1) 小林 尚：原色 ペストコントロール図説 第三集, p16-5～16-7, 日本ペストコントロール協会（1990年）